

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人 本田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	500	160	
		夜・通信			
衛生通信課程	美容科（従事者）	夜・ 通信	175	135	
	美容科（非従事者）	夜・ 通信	450	135	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.a-japan.ac.jp/college/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人 本田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.a-japan.ac.jp/college/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	兵庫県議会議員	平成30年3月17日～令和4年3月16日	機動的な学校法人の運営並びに運営の適正・公共性
非常勤	特定非営利活動法人日本福祉美容協会 代表理事	平成30年3月17日～令和4年3月16日	社会経済の情勢に的確に対応し、安定した学校運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人 本田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員による講義及び実習による授業を行う ・ヘアー・ネイル・メイク・エステ等の実技授業に関しては必ず先生によるデモンストレーション(初回時)を行いその後に生徒たちによる実習を行う ・検定の方法→実習・重要箇所ポイントの予習と復習・実技のトレーニングをサイクルに知識と実技の定着とスキルアップを行っています。 ・授業担当教員により昨年のシラバスでの生徒の理解度や満足度、考慮し作成しその後、担当職員だけでなく他の職員と共に密にミーティングを重ね修正を行い時間の配分、スケジュールの変更、必要であれば科目内容の細分化を行い毎年1月中を目途に作成を行っています。 ・その後、学生オリエンテーションを通じて各担当職員より2月中に周知し、同時に自社のホームページにも掲載公表しています。 	
授業計画書の公表方法	https://www.a-japan.ac.jp/college/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出席は勿論ではあるが、授業の態度、レポートの提出等の状況を踏まえて、各担当教職員により個別にあらかじめ設定した評価方法により評価される。 また、所定の履修認定時間数を満たし、かつ学期末考査で60点以上の成績を修めることが必須である。 考査で60点未満の生徒は、不得意な科目を確認し再度担当教員より履修を受け再考査を行い60点以上であれば履修認定を行っています。 ・通信制に関しては、添削指導及び面接授業の履修状況等を総合的に勘案して履修認定をおこなっています。 	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>・GPA の評価方法としては、前期末考査と後期末考査、前期、後期の集計に分けて分布状況をだしており、全科目の合計点数の平均値を算出し、6項目（～50点、50点～60点、60点～70点、70点～80点、80点～90点、90点～100点）のどの指標数値に当てはまるかを人数を割り振った方法で指標を設定しています。 また下位1/4に該当する人数とその指標数値についても把握しています。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.a-japan.ac.jp/college/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に必要な履修時間数を履修していること ・すべての教科課目の到達度からみて満足できると認められること ・すべての学期末考査にて60点以上の成績を修めていること ・60点未満の者は再考査にて60点以上の成績を修めること ・授業料の納付をしている ・通信課程の場合は、修業年限以上在学し、添削指導の回数を満たす ・一定基準以上の者で授業に必要な面接授業の履修時間を満たしている <p>以上の事を踏まえて、卒業するにあたる会議を3月に開催し認められた者に卒業と認定する</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.a-japan.ac.jp/college/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人 本田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.a-japan.ac.jp/college/
収支計算書又は損益計算書	https://www.a-japan.ac.jp/college/
財産目録	https://www.a-japan.ac.jp/college/
事業報告書	https://www.a-japan.ac.jp/college/
監事による監査報告（書）	https://www.a-japan.ac.jp/college/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
美容		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2031 単位時間/単位	540 単位 時間/単位	900 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	591 単位 時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		62人	0人	9人	8人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・担当職員による講義及び実習による授業を行う ・ヘアー・ネイル・メイク・エステ等の実技授業に関しては必ず先生によるデモンストレーション（初回時）を行いその後生徒たちによる実習を行う ・検定の方法→実習・重要箇所ポイントの予習と復習・実技のトレーニングをサイクルに知識と実技の定着とスキルアップを行っています。 ・年間の授業計画は昨年の計画を基に修正・改善を行い作成しています。
成績評価の基準・方法
（概要） ・授業担当職員により昨年のシラバスでの生徒の理解度や満足度、考慮し作成しその後、担当職員だけでなく他の職員と共に密にミーティングを重ね修正を行い時間の配分、スケジュールの変更、必要であれば科目内容の細分化を行い毎年1月中を目途に作成を行っています。 ・その後、学生オリエンテーションを通じて各担当職員より2月中に周知し、同時に自社のホームページにも掲載公表しています。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業に必要な履修時間数を履修していること ・すべての教科課目の到達度からみて満足できると認められること ・すべての学期末考査にて60点以上の成績を修めていること ・60点未満の者は再考査にて60点以上の成績を修めること ・授業料の納付をしている ・通信課程の場合は、修業年限以上在学し、添削指導の回数を満たす ・一定基準以上の者で授業に必要な面接授業の履修時間を満たしている <p>以上の事を踏まえて、卒業するにあたる会議を3月に開催し認められた者を卒業と認定する</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>授業についていけない生徒に対して→放課後に補講によるサポートを行う 検定や考査前に対して→放課後にサポートを行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (100%)	17人 (100%)	0人 (100%)
(主な就職、業界等) 美容室や結婚式場やまつげエクステサロンに就職			
(就職指導内容) 挨拶訓練や電話訓練、訪問訓練、履歴書の添削、サロン訪問時のマナーなどをしっかり指導し、就職の意識を高めながら、必要なノウハウを学生に合わせて指導している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、まつげエクステ検定、福祉美容師資格、メイク検定、ネイル検定、エステ検定、着付け資格など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 前年度における退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期適応を目指し、入学時には本校理念に基づいた研修をおこなっている。また担任・副担任制を設け、学生との面談だけでなく、保護者との三者面談をおこない、連携をとっている。卒業生講話の場を設け、美容業界のやりがいを伝え、意欲継続などに努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
美容		衛生通信課程	美容通信 従事者（非従事者）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	通信	300 (600) 単位時間/単位	125 (150) 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	175 (450) 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	107人	0人	9人	8人	17人		

※非従事者の時間数は()内に記載

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当職員による講義及び実習による授業を行う ・実技授業に関しては必ず先生によるデモンストレーション（初回時）を行いその後生徒たちによる実習を行う ・検定の方法→実習・重要箇所ポイントの予習と復習・実技のトレーニングをサイクルに知識と実技の定着とスキルアップを行っています。 ・年間の授業計画は昨年の計画を基に修正・改善を行い作成しています。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業担当職員により昨年のシラバスでの生徒の理解度や満足度、考慮し作成しその後、担当職員だけでなく他の職員と共に密にミーティングを重ね修正を行い時間の配分、スケジュールの変更、必要であれば科目内容の細分化を行い毎年3月中を目途に作成を行っています。 ・その後、学生オリエンテーションを通じて各担当職員より10月中に周知し、自社のホームページにも掲載公表しています。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信課程は授業を全て出席した者のみ卒業ができる ・欠席した者は休んだ時間分をすべて補講を行うことで卒業となる ・すべてのレポートにて60点以上の成績を修めていること ・60点未満の者は再提出にて60点以上の成績を修めること ・授業料の納付をしている ・修業年限以上在学し、添削指導の回数を満たす <p>以上の事を踏まえて、卒業するにあたる会議を3月に開催し認められた者を卒業と認定する</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>授業についていけない生徒に対して→放課後に補講によるサポートを行う 試験前に対して→放課後にサポートを行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (100%)	30人 (100%)	0人 (100%)
(主な就職、業界等) 美容室やまつげエクステサロンに就職			
(就職指導内容) 挨拶訓練や電話訓練、訪問訓練、履歴書の添削、サロン訪問時のマネーなどをしっかり指導し、就職の意識を高めながら、必要なノウハウを学生に合わせて指導している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、まつげエクステ検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	7人	18.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期適応を目指し、入学時には本校理念に基づいた研修をおこなっている。また担任・副担任制を設け、学生との面談だけでなく、保護者との三者面談をおこない、連携をとっている。卒業生講話の場を設け、美容業界のやりがいを伝え、意欲継続などに努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
昼間課程	100,000円	600,000円	532,500円	
通信課程 (従事者)	100,000円	175,000円	95,000円	
通信課程 (非従事者)	100,000円	185,000円	95,000円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ファイル名：学校自己評価 ホームページ掲載 https://www.a-japan.ac.jp/college/</p>																	
<p>学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）</p> <p>美容業界の学識経験者や卒業生、その他本校の関係者において評価項目に直接かわりのないメンバーで構成されています。</p> <p>■学校自己評価の結果に基づき評価を行う 評価項目：①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学習成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 採点基準：適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1</p> <p>以上の評価項目、採点基準を踏まえて、1、2の評価は直ぐに職員全員で3評価以上に報告書記載の課題と改善点を基に評価改善を行います。 また3の評価に関しても同様に報告書記載の課題と改善点を基に評価改善を行います</p>																	
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有限会社もとやま</td> <td>平成31年1月6日～ 令和3年1月5日</td> <td>企業代表者</td> </tr> <tr> <td>元兵庫県立姫路西高等学校</td> <td>平成31年1月6日～ 令和3年1月5日</td> <td>高等学校関係</td> </tr> <tr> <td>有限会社アールアンドエス企画</td> <td>平成31年1月6日～ 令和3年1月5日</td> <td>企業代表者</td> </tr> <tr> <td>美容室 LOTUS</td> <td>平成31年1月6日～ 令和3年1月5日</td> <td>卒業生</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	有限会社もとやま	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	企業代表者	元兵庫県立姫路西高等学校	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	高等学校関係	有限会社アールアンドエス企画	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	企業代表者	美容室 LOTUS	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	卒業生
所属	任期	種別															
有限会社もとやま	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	企業代表者															
元兵庫県立姫路西高等学校	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	高等学校関係															
有限会社アールアンドエス企画	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	企業代表者															
美容室 LOTUS	平成31年1月6日～ 令和3年1月5日	卒業生															
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ファイル名：自己評価における学校関係者評価報告 ホームページ掲載 https://www.a-japan.ac.jp/college/</p>																	
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>																	

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.a-japan.ac.jp/college/</p>
